「食べて応援しよう!」の取組に参加しましょう!

食べて応援しよう!とは?

東日本大震災による被災地やその周辺地域で生産・製造されている 食品を積極的に利用することで、被災地の復旧・復興を応援しよう とする取組を行う際の共通のキャッチフレーズです。

○ 全国で支援の輪が広がっています



被災地産食品の販売フェア



被災地産食品を使用したメニューの提供

○ ロゴをPOPやチラシ等に自由に使用することができます











○ 参加するためには

以下のページにアクセスいただき、参加登録手続きを行ってください。 <フォーマット>

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/attach/xls/index-2.xls <食べて応援しよう!のHP>

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/index.html

☞お問い合わせ先

農林水産省大臣官房新事業·食品産業部食品流通課 TEL: 03-3502-8267

復興の進捗や魅力の発信

復興・創生 その先へ

概要

今なお続く風評の払拭に向け、① 福島の復興の現状等を「知ってもらう」、② 福島県産品を「食べてもらう」、③ 福 島県に「来てもらう」 の3つの観点から、インターネット、SNS、ラジオ、テレビ等を活用した情報発信を実施。

主な取組

(1)専用WEBサイト

復興庁WEBサイト「タブレット先生の福島の今」を開設し、 復興の現状や放射線の基礎知識、福島県産農産物等の魅力を 伝えるためのわかりやすいコンテンツを充実。









(2)~(7)も こちらからご覧いただきます! 「タブレット先生の福島の今」充実したコンテンツ

(2)FMラジオ番組「Hand in Hand」

TOKYO FMで福島の風評払拭に向けた 番組を放送。大都市圏(札幌・仙台・大 阪・愛知・広島・福岡) や福島で放送。



(聴取者数 約70万人/回)

(3)マンガ

福島の復興の現状や放射線の正しい知識を伝えるマンガ 3作品を公開。

(うち2作品については、 英・中(繁・簡)・韓) 版も作成。)





(4)海外に向けたTV番組の放送

[Magical Journey Fukushima] (NHK World)

・ 美味しい水から造られる福島名産の日本酒や農産物、温泉等の 魅力を紹介しつつ、検査の状況や被災からの復興の様子を紹介。

(5) YouTube動画「おいしい福島」

・福島県産農産物等の魅力と安全性について、分かりやすく、楽しく 観られる動画をYouTubeで配信(14動画計730万回再生)。









(6) WEBゲーム「ふくしま旅スゴ」

ウェブ上で福島全市町村をサイコロを振って巡り、 各市町村に関するクイズと放射線に関するクイズ に答えながらゴールを目指すすごろくゲーム。 「あつまれどうぶつの森」で使用できる「あつ森 マイデザイン」を配布。



- ・福島の海の魅力を釣りや料理を通じて体感できる 一般参加型オンラインツアーを開催(11/28、参加 者109名)。
- ・ 福島第一原発を巡る一般参加型オンラインツアー を開催(R4.2)。





(8)イベントの開催

釣り雑誌での展開

・ 福島県内自治体等と連携し、大阪において食、観光など福島の魅力 や復興の進捗を発信するイベントを開催(R4.3)。

ALPSが理がについて キロってほしい3つのこと

誤った情報に惑わされないために。 誤った情報を広めて苦しむ人を出さないために。

ALPS処理水とは、トリチウム以外の放射性物質が安全に関する規制基準値を確実に下回るまで多核種除去設備等で浄化処理された水のことです。



放射線は細胞を傷つけますが、細胞には修復機能があります。

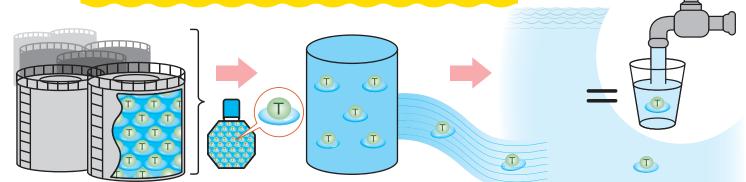
注1) トリチウムの量 日本で1年間に降る雨:220兆ベクレル、海水や水道水: $0.1\sim1$ ベクレル/%、人体:数十ベクレル

注2) トリチウムなど放射性物質による発がんリスクが高まるのは、多くの放射線を浴びた場合とされています。 裏面に記載の放出方法により人が受ける放射線の量は、自然界から受ける放射線の10万分の1です。



それでも皆さんを不安にさせないよう/

取り除けるものは徹底的に取り除き、 大幅に薄めてから海に流します



タンク(約千基)に貯められている 水は東京ドーム1杯分。 その中のトリチウムは 目薬1本分。

その上で、 100倍以上大幅に薄めます。

トリチウムの濃度は、WHO(世界保健機関)の 飲料水基準(注3)の1/7程度になります。

トリチウム以外の放射性物質について、世界共通の安全性確保の 考えに基づき設定している規制基準を満たすまで取り除きます。

海水中の トリチウム濃度は、 水道水と同じ レベルになります。(注4)



世界でも既に海に流しています

世界中の原子力施設から、 各国の規制基準を守って トリチウムが海や大気に 放出されています。

トリチウムが原因と思われる影響は 見つかっていません。

東京電力福島第一原発のトリチウムの貯蔵量と比べると、

- ●フランス ラ・アーグ再処理施設 1年間で16倍の量を放出
- ●韓国 月城原発 1年間で1/6の量を放出



出典:『世界の原子力発電開発の動向2020年版』(一般社団法人 日本原子力産業協会)を基に復興庁作成

放出するALPS処理水は、放射性物質の分析に専門性のある第三者機関の 協力を得てしっかりと検査をし、その結果を公表していきます。

- 注3) WHOによる飲料水基準 (トリチウム): 10,000ベクレル/ ドル
- 注4) 東京電力のシミュレーションによると、水道水のレベルを超えるところは、おおむね発電所近くの漁業制限区域に限られます。
- さらに詳しく知りたい方はこちら

放射線について 「タブレット先生の福島の今」



処理水について 「廃炉・汚染水・処理水対策 ポータルサイト」





復興・創生 その先へ